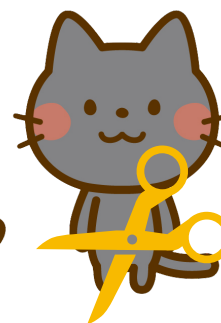
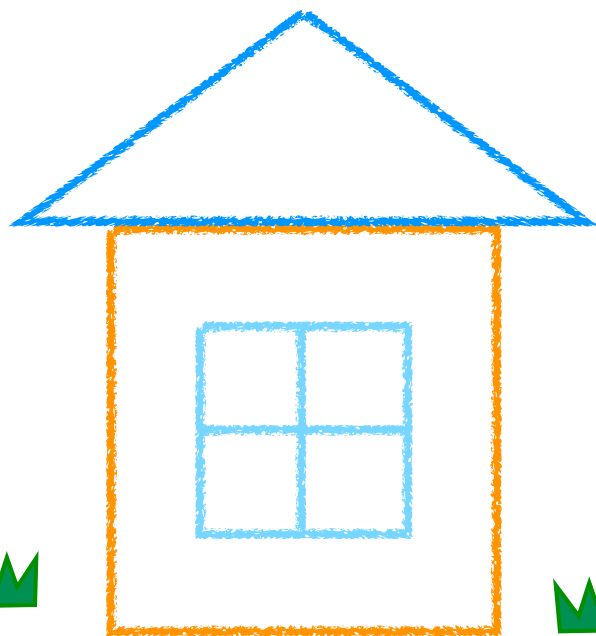
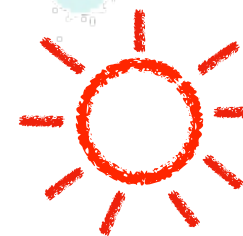
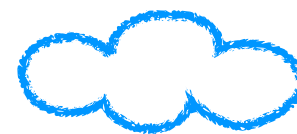
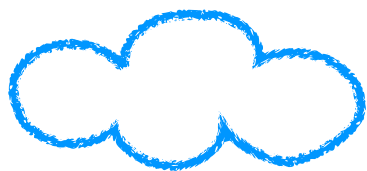


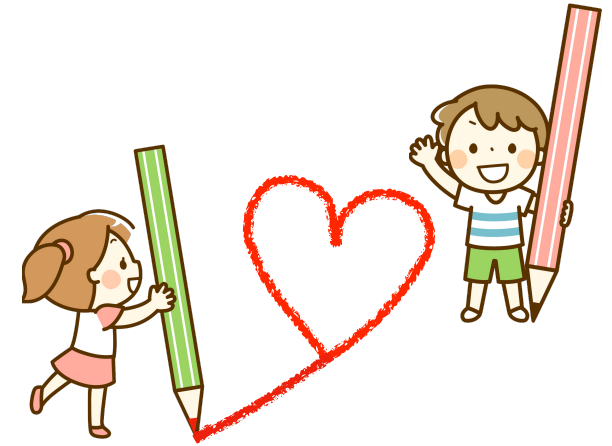
線なぞり



線なぞり-入門編-

線なぞりの ねらい

-  見る力を高めます
-  手の動きをコントロールする力を鍛えます
-  目と手の連携を高めます



線なぞりの 使い方

入門編は、まだしっかり線が引けないお子さんを対象にしています。

お子さんが、好きな絵から取り組みましょう。

①A4サイズ of 用紙に印刷してください。

②同じマークを線で結びましょう。

*まず、指でなぞってから書いてみましょう。

*えんぴつが難しい子は、好きなペンで線をひいてみましょう。

取り組む ポイント



🔍 はじめのうちは、線が枠からはみ出しても構いません。鉛筆を持ち何か書いただけで、「**鉛筆持てたね！**」や「**鉛筆で書けたね！**」とほめてあげましょう！やる気になったことを見逃さずにほめると次につながります。

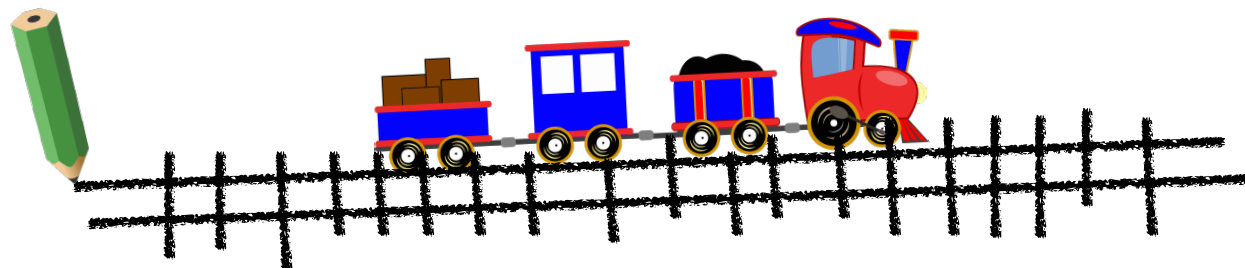
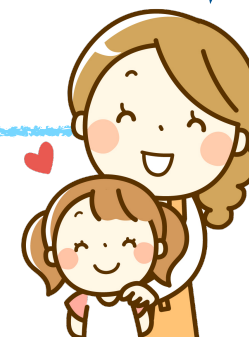
🔍 お子さんが、線を書いている時は、「**いい感じだよ！**」「**あともう少しだよ！**」とほめたり励ましてあげましょう。

🔍 1 ページ終えたら、教材の最後にある“**がんばったね！カード**”に色をぬりましょう。好きなシールを貼ってもOKです。取り組んだことをほめてあげましょう。

🔍 お子さんが、気分が乗らないときはトレーニングはお休みしましょう。

🔍 上手く書けなくて大丈夫！
楽しくお話ししながら取り組むことが最大のポイントです！

上手だね！



iPadをお持ちの方へ

AppleBooks(iBooks)を使って取り組むことができます。
パレットを出し、お子さんのレベルに合ったペンの太さを選んでください。
タッチペンがない場合、指でも可能です。

目や首が痛くならないように姿勢を整えてやりましょう。
時間を決めて取り組んでください。



困ったときはこちらをチェック！



『ノートがきれいにとれるようになる！

発達障害の子どもの目と手の連携を強化する無料教材ができました』

<https://desc-lab.com/18972/>



『線なぞりで発達障害の子どもの目と手の連携を高める！

教材の使い方を解説します！』（教材解説動画）

<https://desc-lab.com/18974/>



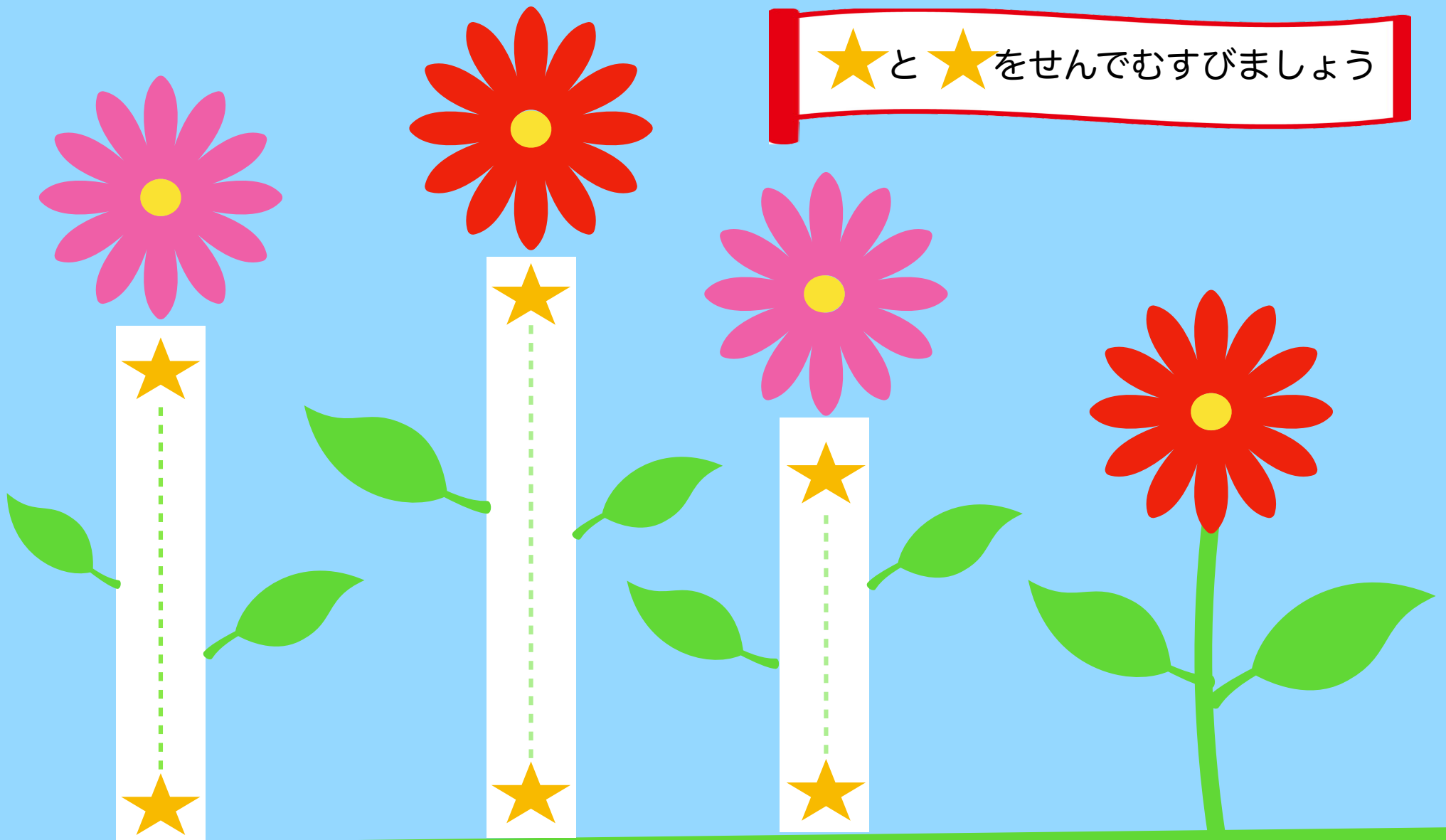
『発達障害の子どもの不器用さは「見る力」不足!?

見る力を高めるお母さんの一声』

<https://desc-lab.com/18966/>



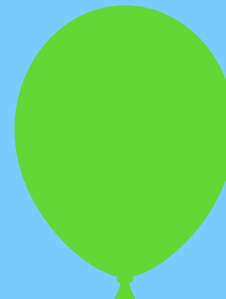
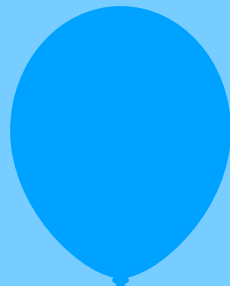
★と★をせんでむすびましょう



★と★をせんでむすびましょう

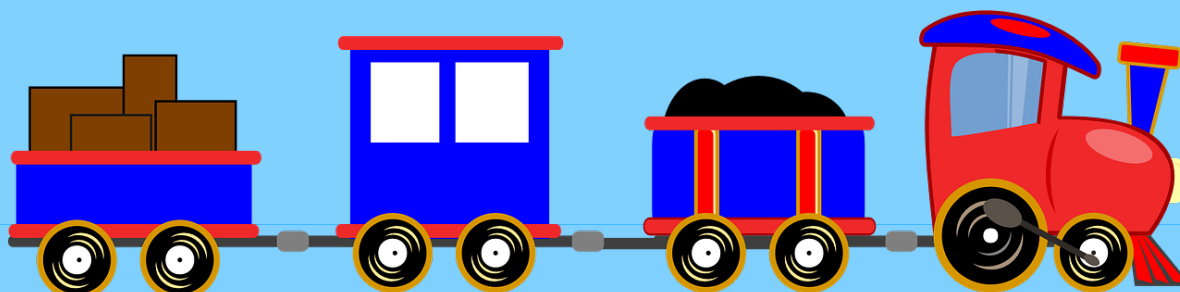
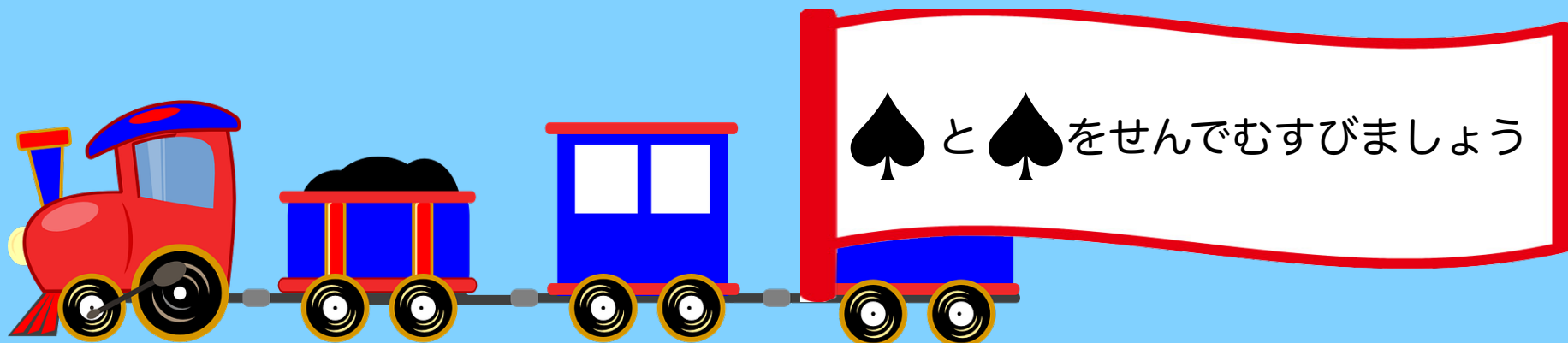


★と★をせんでむすびましょう



★と★をせんでむすびましょう





と をせんでむすびましょう



★ と ★ をせんでむすびましょう



★ と ★ をせんでむすびましょう

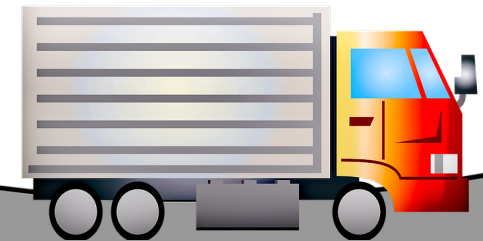
 と  をせんでむすびましょう



 と  をせんでむすびましょう

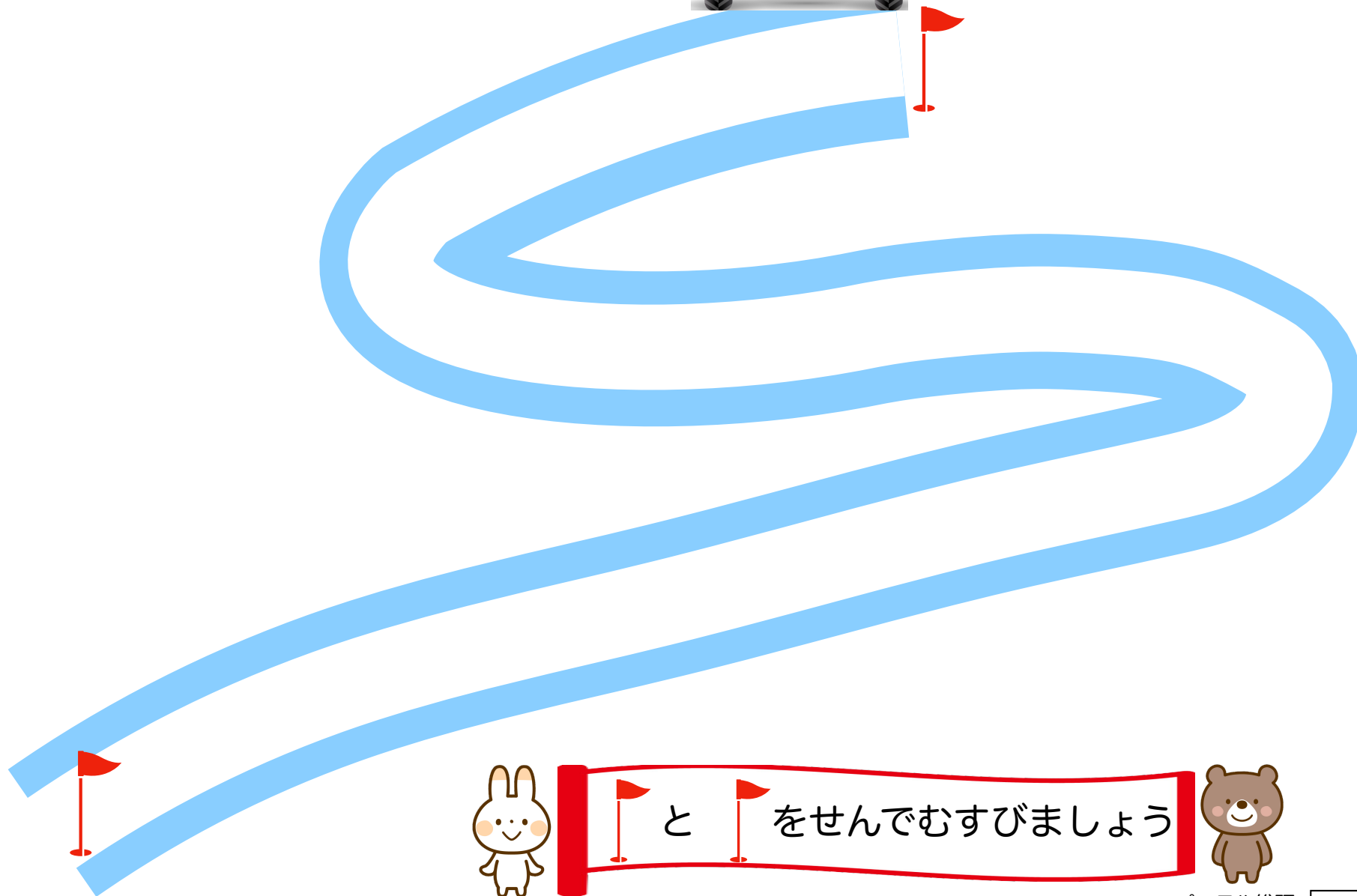


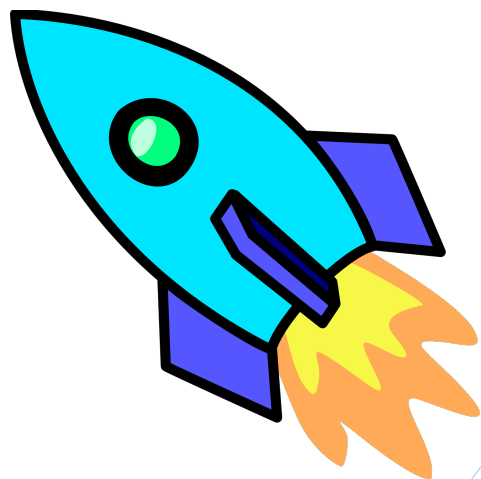
と をせんでむすびましょう



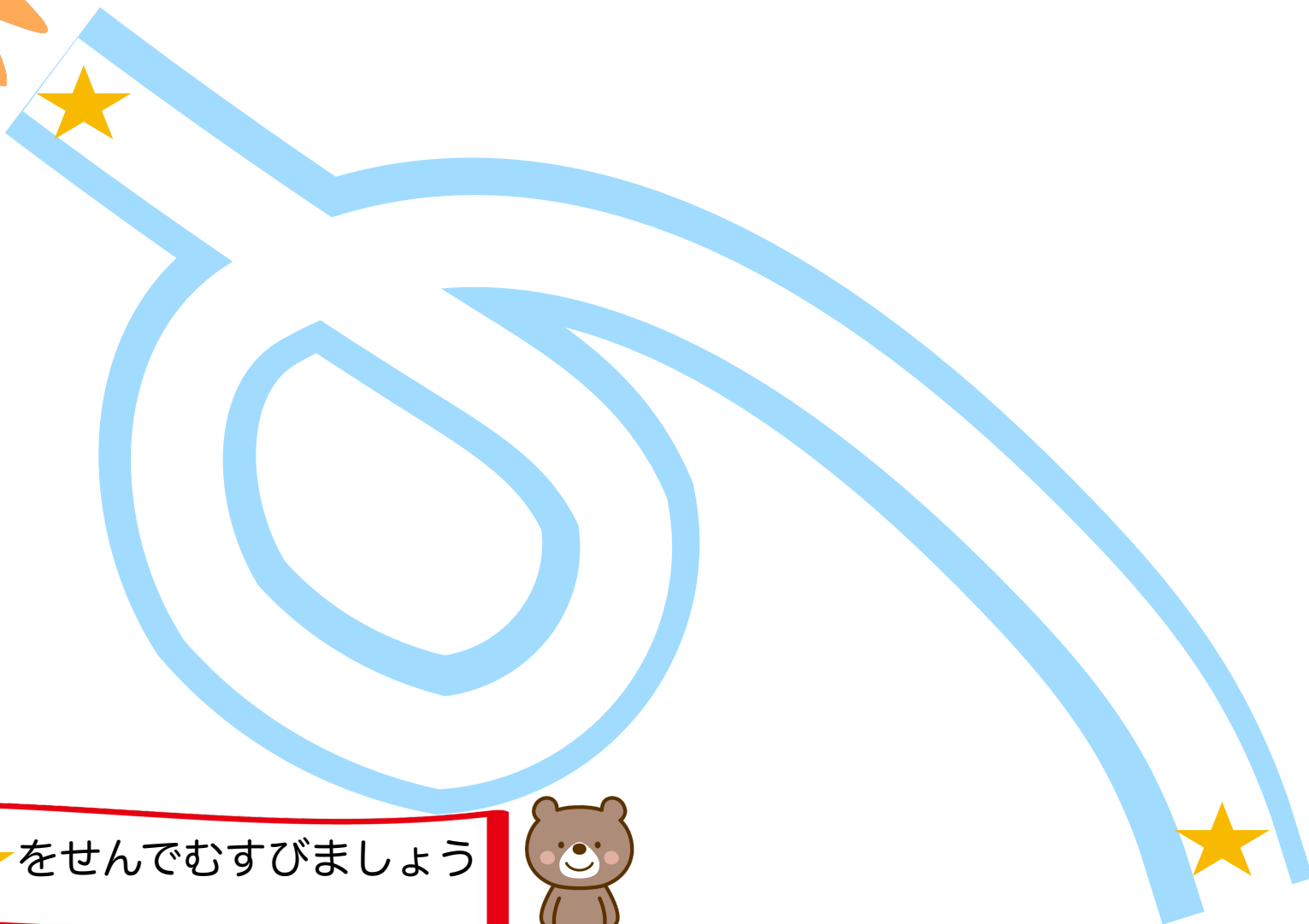
と をせんでむすびましょう







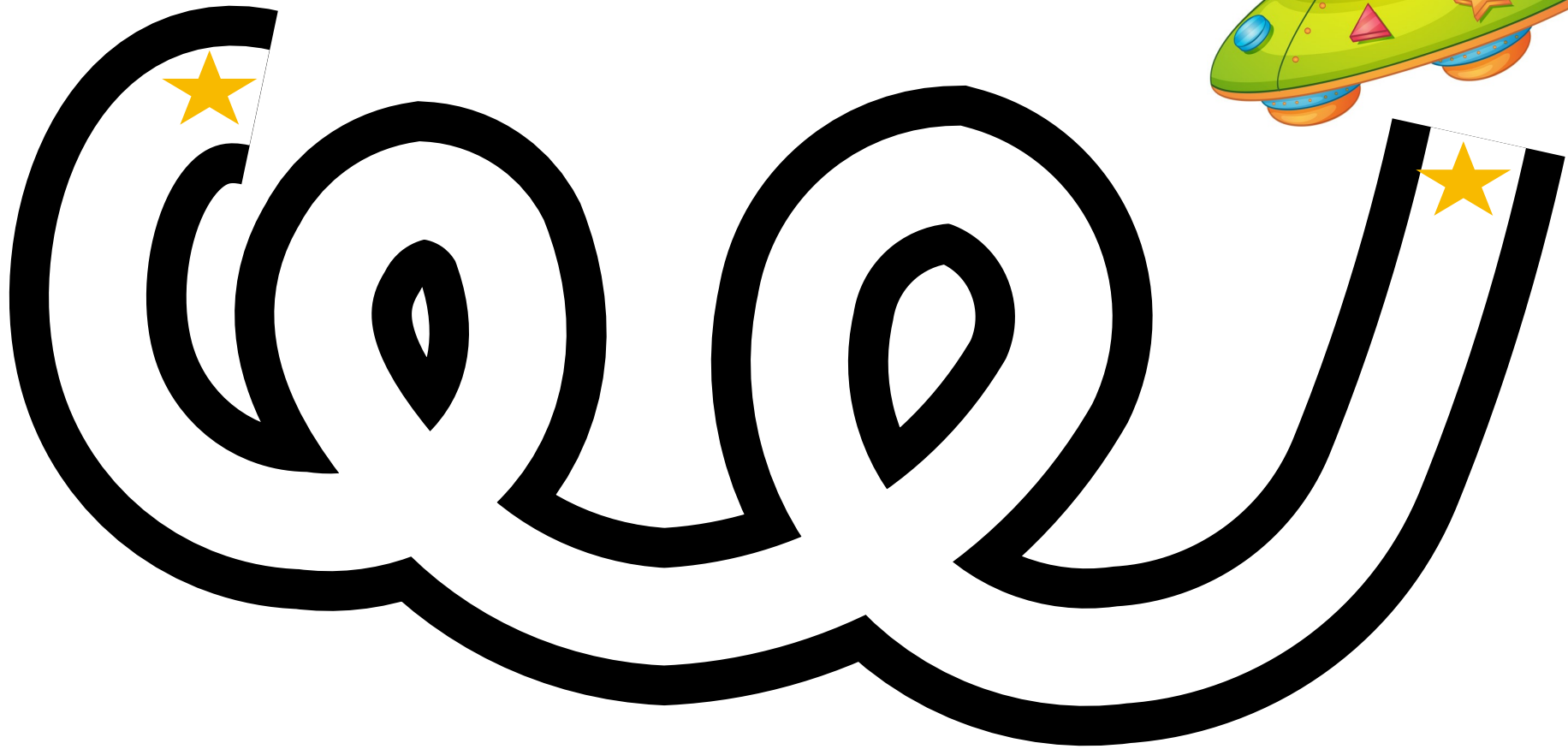
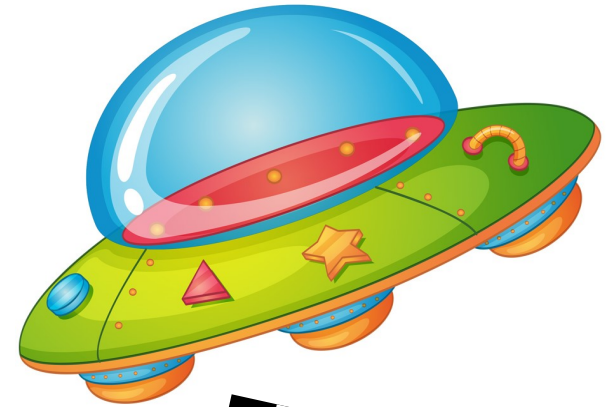
★と★をせんでむすびましょう



★と★をせんでむすびましょう

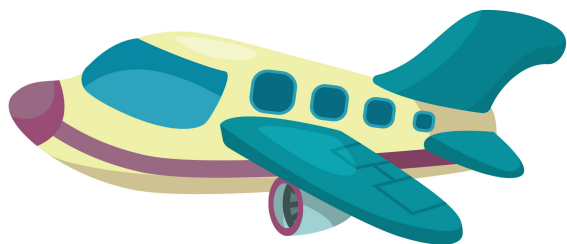


★と★をせんでむすびましょう

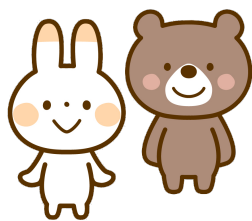


★と★をせんでむすびましょう



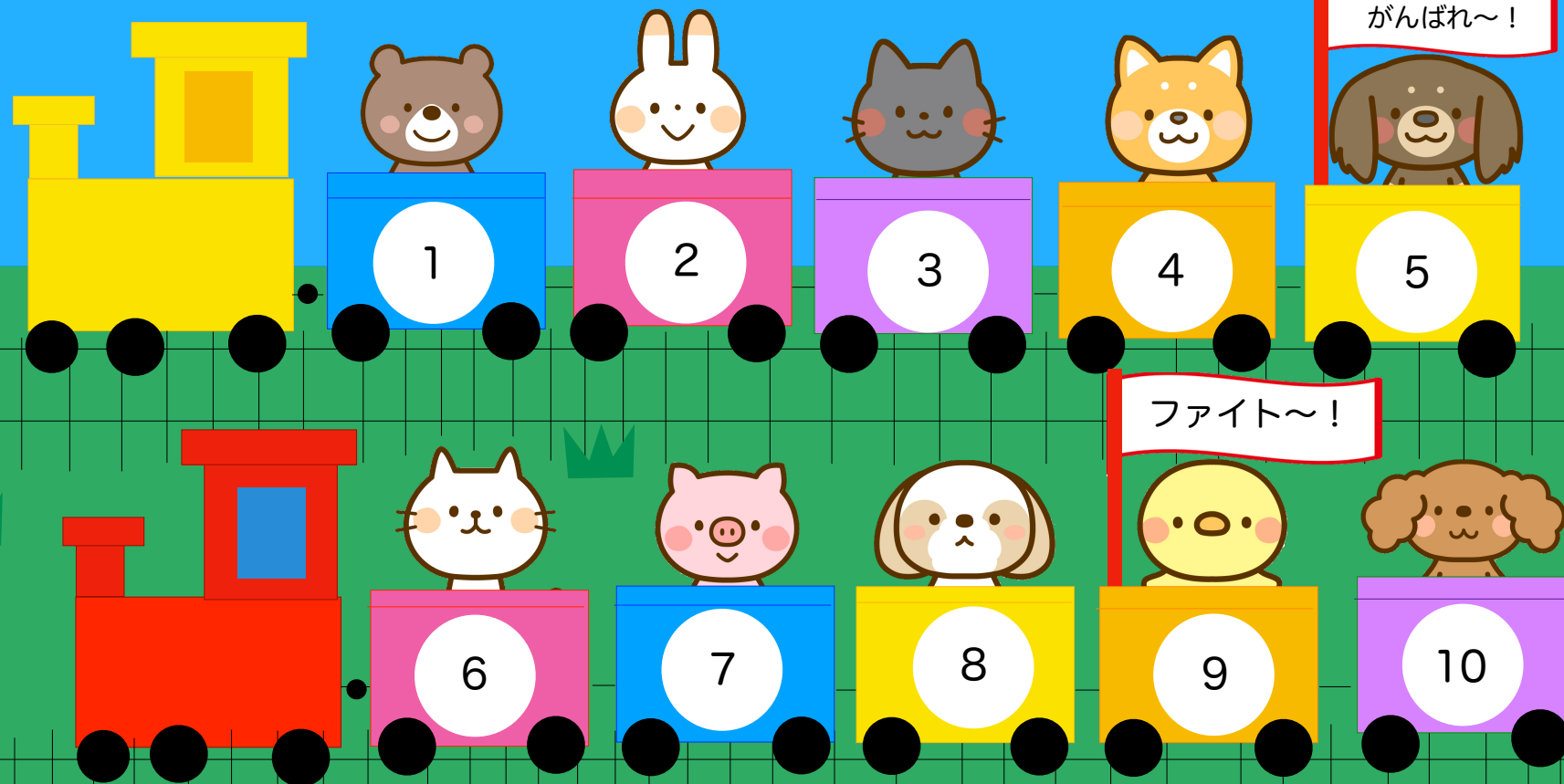


♪と♪をせんでむすびましょう



♪と♪をせんでむすびましょう

がんばったね！カード



1枚終わったらこのシートの好きな番号のところに好きな色をぬったり好きなシールをはりましょう。

©2020.パステル総研

線なぞり入門編